

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	現代社会A													
科目基礎情報																			
科目番号	01135			科目区分	一般 / 選択														
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1														
開設学科	建築学科			対象学年	1														
開設期	後期			週時間数	2														
教科書/教材	「公共」(数研出版) / 「最新図説 現社」(浜島書店)																		
担当教員	北野 孝志																		
到達目標																			
(ア)将来技術者を目指す者として、現代社会の特質や課題について理解し、説明することができる。 (イ)人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、人としていかに生きるべきかについて考えることができる。 (ウ)様々な資料から適切に情報収集し、複数の情報を整理・構造化して論理的に表現することができる。																			
ルーブリック																			
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安													
評価項目(																			

		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	後13,後14
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12
	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	3	後6,後7
			技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	3	後7
			技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	3	後4,後5
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	後8,後9,後10
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11